

『営農アンケート』集計結果の説明

～夜須川・細川・国光地区集計～

1

令和3年2月22日
香南市農林水産課

『営農アンケート』集計結果の説明目的

- 営農アンケートの結果を地区会合の参加者間で共有し、**地区での共通課題を参加者で確認**する。
 - 農地所有者や農業者の年齢構成を知り、後継者の有・無を含め、今後の地区の農業継続性の現状を理解する。
 - 農業者や農地所有者の農地の現状認識を確認する。
 - 持続可能な農業に向けての考え方の傾向を共有する。
- アンケートの内容をできるだけ可視化し、地区の会合で**活発な議論を呼ぶ材料**とする。
 - 自由記述意見をコメントとして記述し、できるだけ生の声を再現する。

注) 営農アンケートの利用について

- ① アンケートでご回答いただきました内容は、『人・農地プラン』事業関係の事項に利用させていただき、他の目的では使用しません。
- ② 地区の会合等でアンケートの集計結果のまとめを説明する際に、お名前などを含めてプライベートな事項は出ないように処理したうえで、コメントを利用させていただきます。

地区の皆さま、ご了承をお願いいたします。

『営農アンケート』の概要

- ▶ 目的：人農地プランの策定に向けて、農地所有者、後継者、耕作者の現状、今後の営農の意向を把握する。
- ▶ 対象：香南市にある農地の所有者、後継者、耕作者
- ▶ 方法：郵送でのアンケートへの回答、または農業委員・推進委員による戸別訪問での聞き取り
- ▶ 使用データ：農家台帳（令和元年12月16日時点）
- ▶ 件数：宛先不明等を除いた実質 5,864件 （総数 7,302件）
- ▶ 実施：令和元年12月～令和2年7月
- ▶ 回収終了：令和2年9月23日
- ▶ 回収件数：3,330件 （56.8%）
- ▶ 面積：1,520ha （64.4%）

夜須川・細川・国光地区の営農アンケート回収状況

5

(注) 農業委員・農地利用最適化推進委員による個別訪問調査も含む。

- 207通送付し返信数は124通であり、返信率59.9%となった。
- 返信者の農地所有面積集計では、地区全体の57.9%となった。

表1) 地区別返信率 (人数)

No.	地域	実質数	返信数	返信率
1	佐古	303	185	61.1%
2	西野・大谷・深淵	560	319	57.0%
3	下井・上岡	314	208	66.2%
4	東野	433	216	49.9%
5	富家	285	156	54.7%
6	香宗	235	143	60.9%
7	吉原	290	146	50.3%
8	古川	200	130	65.0%
9	赤岡	174	118	67.8%
10	徳王子・岸本	592	344	58.1%
11	山南	484	266	55.0%
12	山北	380	203	53.4%
13	西川	247	140	56.7%
14	東川	209	113	54.1%
15	舞川・撫川・奥西川	103	57	55.3%
16	西山・坪井	397	231	58.2%
17	十ノ木・上夜須	181	95	52.5%
18	夜須川・細川・国光	207	124	59.9%
19	羽尾	36	26	72.2%
20	手結山	234	110	47.0%
	合計	5,864	3,330	56.8%

表2) 地区別返信率 (面積)

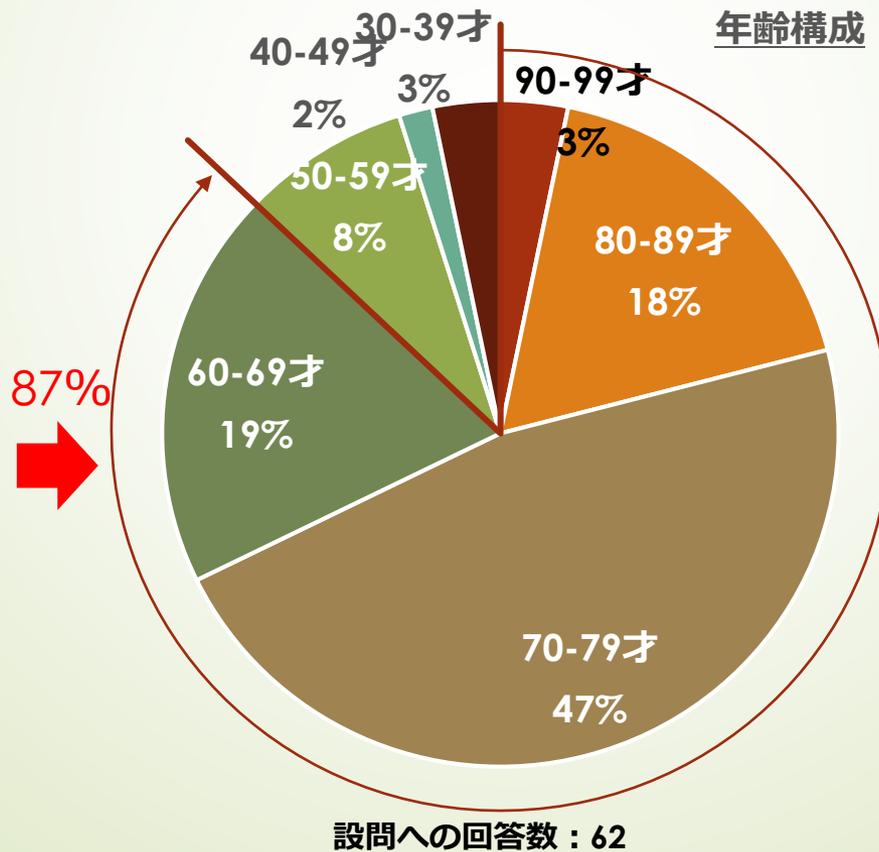
No.	地域	現況面積(m ²)	返信(m ²)	返信面積比率
1	佐古	1,297,261	744,122	57.4%
2	西野・大谷・深淵	2,360,164	1,572,798	66.6%
3	下井・上岡	1,314,818	908,980	69.1%
4	東野	1,825,753	1,048,214	57.4%
5	富家	925,220	618,222	66.8%
6	香宗	739,417	455,440	61.6%
7	吉原	809,809	424,597	52.4%
8	古川	437,288	260,175	59.5%
9	赤岡	580,401	450,114	77.6%
10	徳王子・岸本	3,020,829	2,228,900	73.8%
11	山南	2,365,532	1,459,258	61.7%
12	山北	1,749,997	1,196,689	68.4%
13	西川	1,107,364	738,328	66.7%
14	東川	777,707	485,386	62.4%
15	舞川・撫川・奥西川	277,516	143,200	51.6%
16	西山・坪井	1,600,275	1,044,408	65.3%
17	十ノ木・上夜須	801,984	453,988	56.6%
18	夜須川・細川・国光	695,643	402,999	57.9%
19	羽尾	134,915	73,671	54.6%
20	手結山	781,247	491,765	62.9%
	合計	23,603,141	15,201,256	64.4%

アンケート集計 (1)

6

アンケート回答者（農地所有者、農業者）の年齢構成

- 回答者（農地の所有者、農業者）の87%は60才以上の年齢層である。



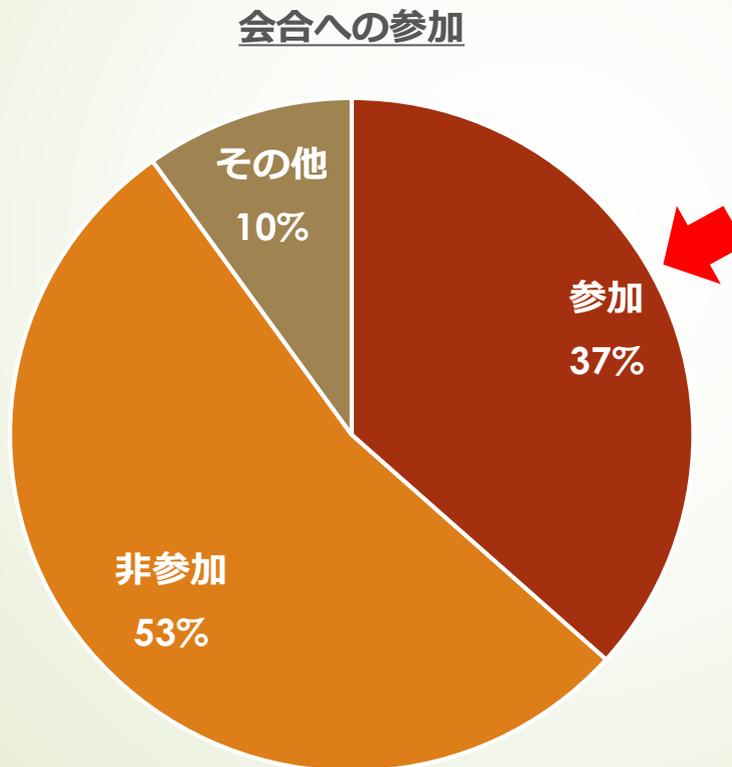
アンケート集計 (2)

地域会合への参画意向

7

話し合いへの参加希望 (取組に対する意見等)

- 回答者の37%は地区会合に参加を希望されている。
- 参加辞退者でも、会合の議論内容を知りたい、方針を知りたい、との意向がある。



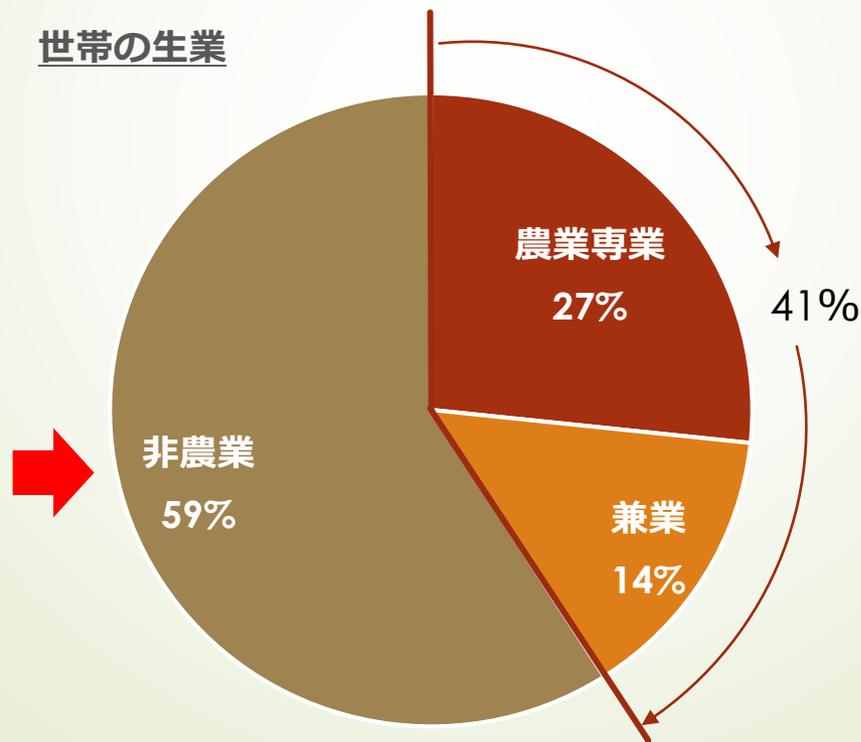
コメント：

- ・今のところ他人の農業に合わすことは難しいです。一人であっても自分のできる農業を一步步推し進めたい。
- ・話し合いで方針が決まれば、情報は欲しい。

設問への回答者数：101

Q1. あなたの世帯は、どのような世帯ですか？

- 専業、兼業合わせても農業を営む割合は41%となっている。
- 農業を営んでいない人は59%であった。（離農し他の職業へ、相続、高齢、施設入所、県外など遠方に転出：土地持ち非農家、等が推測される。）

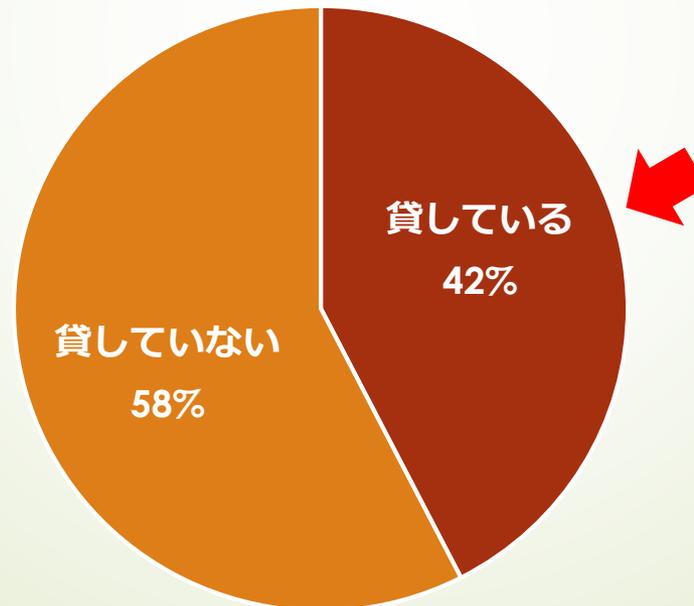


設問への回答数：105

Q2. 現在、人に農地を貸していますか？

- 現状で農地所有者の42%は農地を貸している。

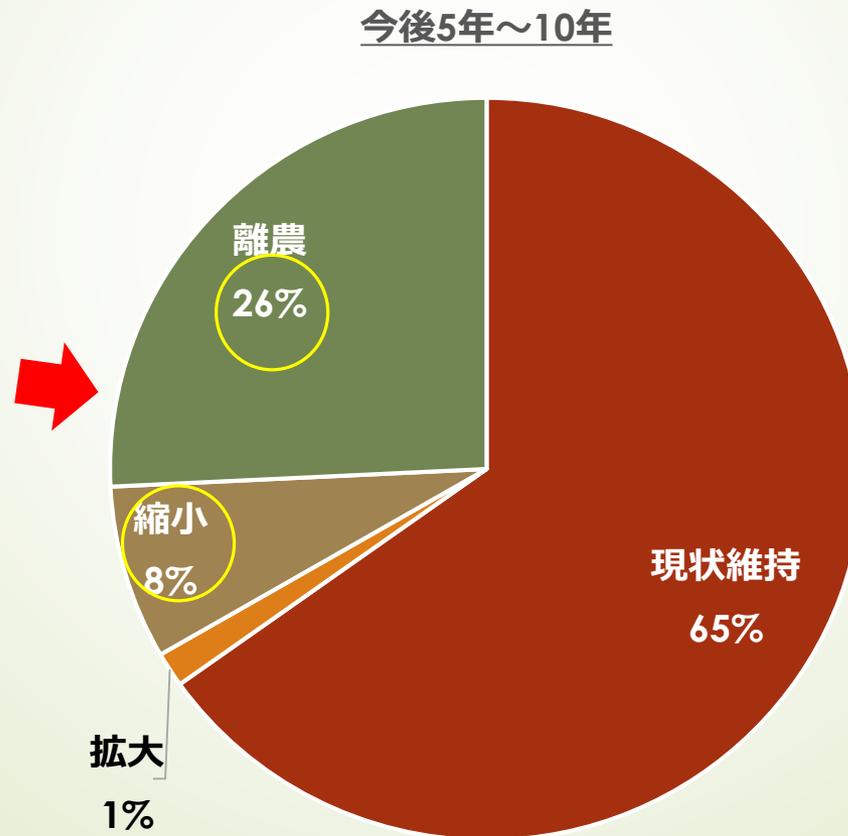
農地の現状



設問への回答者数：106

Q3. 5～10年後を考え、あなたはどのようにしていきたいですか？

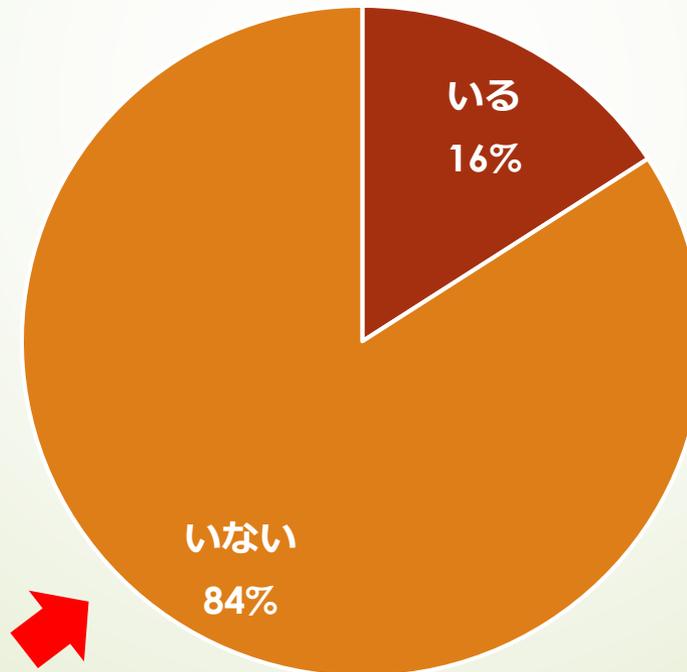
- 今後も現状維持する、との意向が65%あった。
- 一方、農業を辞める（見込みも含め）あるいは縮小との回答も併せて34%あった。



Q4. 後継者（農業後継者）はいますか？

- 農業後継者のいない割合が84%あった。
- 将来的に後継者への継承も伺える希望的状況もあるが、明らかに後継者の居ないという状況もある。

農業後継者

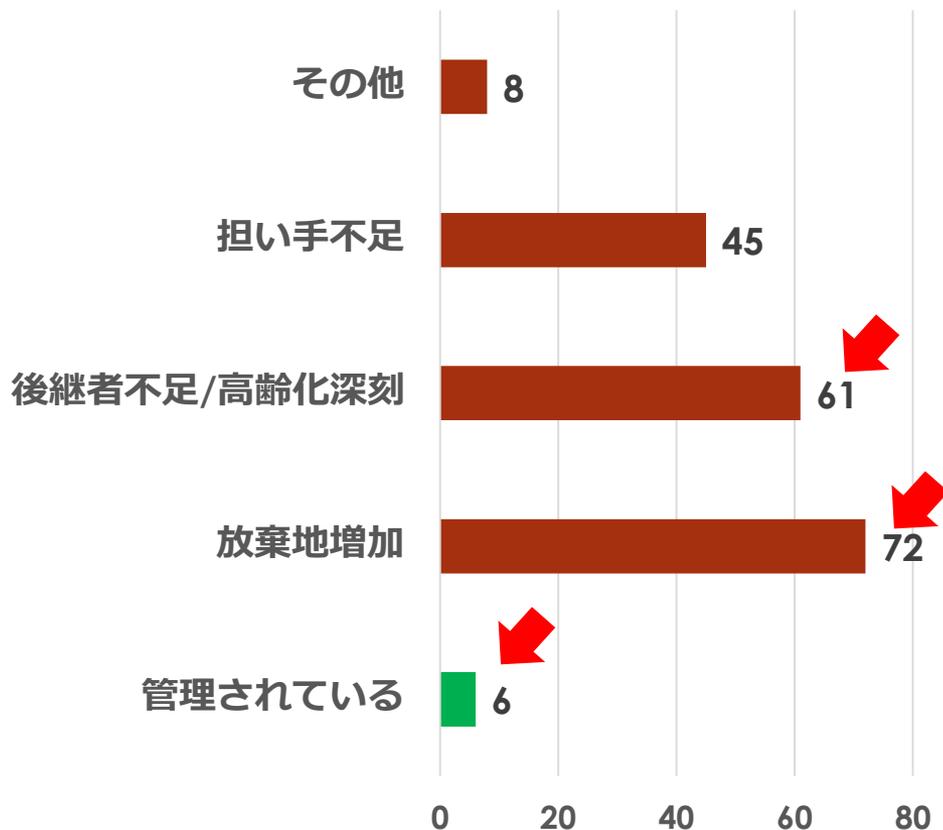


設問への回答者数：72

Q5. あなたの地域の農地や農業者の状況は、いまどのようになっていますか？

- 管理されているとの認識は少なく、後継者不足や高齢化が深刻化している、放棄地が増加している、との認識が多い。

地域の農業者/農地の状況



設問への回答数：192

コメント：

- ・全く分かりません。
- ・わからない。
- ・わからない。
- ・いろいろ聞いてくた。
- ・相続放棄して農地は所有していない。
- ・立地条件が悪く継続が難しい。
- ・災害復旧が進まず、3年目を迎えています。したいが、復旧ができないと手が付けられない。
- ・若者が居ない。
- ・中山間のため、農業の持続が難しい。
- ・わからない
- ・農道が無く使用不能

アンケート集計 (8)

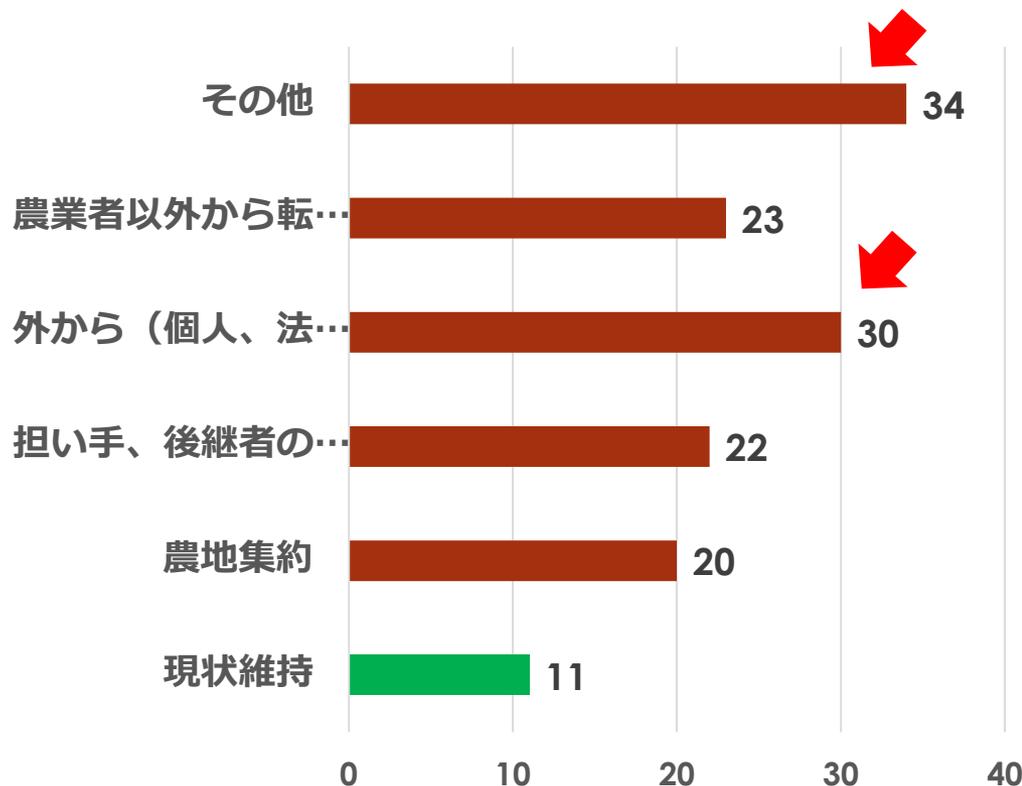
持続可能な農業のために

13

Q6. あなたの地域の農業が5~10年後も持続可能なものとするために、どうしたらよいと思いますか？

- 地区外からでも受け入れが必要との声も多い。

持続可能な農業



コメント

- JAが直接進出する(農業経営を行う)。
- 従来型にはまった農業にはあまり魅力を感じていない。自分も楽しめそうな農業を追求したい。
- 認定するときには、審査を厳しく本気度を確認してください。
- 人口減の為、無理。
- 分かりません。
- わからない。わからない。
- 無し

アンケート集計 (9)

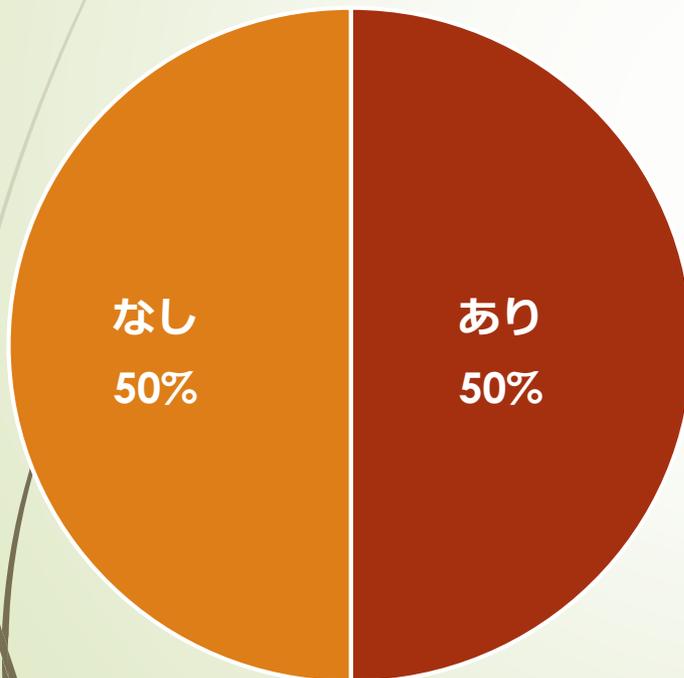
売りたい・貸したい農地候補

14

Q7. あなたの農地で、売ったり貸したりしてもよい農地やハウスがあれば教えてください。

- 農業を既に営んでいない事より、農地が貸し売りの候補地となっている状況もある。
- 所有者が所有農地の場所を把握できていない状況も起こってきており、所有者と農地の関係がますます希薄になってきている様子が伺える。

売り貸し候補地



設問への回答数 : 52

コメント

【貸したい】

- ・農業をやっていないため
- ・農業経営をしていない。
- ・貸していい農地はあるが、納税通知書に書いてある地番がどこなのかを把握していない。

【売りたい貸したい】

- ・場所よくわかりません。利用される方があれば、売却も可。母の名義か自分の名義かもよくわかりません。
- ・高齢化で維持管理できない。山奥で不便な地にある。
- ・高齢化で（農業を）するものが居ない。
- ・どちらでも。維持管理者が居ない。

【売りたい】

- ・維持管理が難しい。(3)
- ・後継者も居ない。(2)
- ・農業以外の職業であり、息子も企業に勤めており、将来農業を行う予定が無い。
- ・借り手が居て、幾分でも所得になればよいが、現状では売ってもよい。

■ アンケートからの農地の売却・賃貸希望の背景概要

15

農業者側の事情

- 高齢化、体力・気力低下
- 所有者/借地者の病気
- 県外など遠方に在住
- 農機具を所有していない
- 他の仕事に専念
- 後継者不在/跡継ぎまで年数要
- 耕作者である借地人も高齢/後継者が居ない

農地を農地として管理できない。

耕作条件

- 小さい農地区画
- インフラ（農道/水路）不備
- 病害（生姜）/使用形態（養殖）

農地としての適性が低い。

農業の採算性

- 米づくりでは赤字

農業（稲作）を続けられない。

資産活用

- 生活費の捻出
- 事業の資金の調達
- 貸地としても経費（公租公課、水利）要

農業以外で資金需要がある。

賃貸

売却